

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）キンキダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ムラカミ レイコ ゼミ
近畿大学	経済学部	村上 礼子 ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）ジネンジョ	フリガナ）ニシタニ クミ	5	無
自然薯	西谷 久美		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
無し

研究テーマ（発表タイトル）
サステイナブル ～高級材の普及を目指して～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちは9月11.12日にゼミ合宿で奈良県に訪れました。この二日間過ごして家、人、店が少ないと素直に感じました。この地域は消滅してしまうのではないかと思い調べてみると全国各地でこのような限界集落が多数存在していることがわかった。そこで私たちは奈良県の基幹産業である林業に目をつけ、吉野杉について調べ始めた。本研究は吉野杉を通して過疎化が進んでいる地域の活性化、地域創生することが狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

戦後の木材需要量をピークに近年まで国産材の需要量は減少している。その理由として第一に外国から安価で輸入される外材、集成材の存在が大きい。これらの木材の価格と供給力にどう対抗するのが問題視されている。第二の理由としては、鉄筋コンクリートなど木材代替品の出現である。

吉野杉だけの現状で言うとも良質で高級材という魅力が近年の消費者にとっては逆に足かせともなりつつあり、需要先拡大の取り組み活動を悩ませている。さらに多額の補助金を受け取れなければ生産するのも困難な状況にある。

3. 研究テーマの課題

使われずに放置されている木材の需要増加に対する取り組み。

そこから地域に職が生まれ、都心への人口流出を防ぎ、地域創生に繋げていく。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

ヒアリング調査により木材をより効率よく消費する商品は住宅であることがわかった。いかに木造住宅の新築、リノベーションなどの需要を伸ばせるかがカギになっている。近年のアンケート調査では「木造建築に住みたい」と答える人の割合は7割を超えており木造住宅に魅力を感じる人は少なくない現状であり、実際に木造建築で成功している企業も存在している。

木材の切り倒しから生産過程を踏まえて商品として消費者の手に渡るまでの生産過程の短縮による経費削減。この過程を官民一体でおこなう新たなビジネスモデルの提案が課題解決に繋がると考える。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

以上の内容は私たちが木材を通して地域創生を考えるうえで得られた成果である。具体的には奈良県林業の現状、吉野杉の特徴、吉野杉が抱える問題などを知るために奈良県庁にヒアリング調査に行った。また実際に木材建築で成功している企業の業務内容を知るために「株式会社イムラ」に伺った。また近畿大学生 118 人を対象に吉野杉、木造住宅などに関するアンケート調査をおこなった。

・実施調査記録

奈良県庁	ヒアリング調査	2017年10月4日
株式会社イムラ	ヒアリング調査 モデルハウス見学	2017年10月26日
近畿大学生	アンケート調査	2017年10月31日

6. 結果や今後の取り組み

本研究に取り組み実際に木材を手に取りモデルハウスを見学することで、木造住宅の魅力を感じることができた。その中で木材需要の拡大を通して地域活性化に可能性を感じることができた。今後の取り組みとして、生産過程短縮で成功している株式会社イムラのビジネスモデルを全国各地にある銘木産地の行政や生産者、住宅メーカーなどに提案していく。

7. 参考文献

かわかみ社中 <http://yoshinoringyo.jp/>

株式会社イムラ <https://www.imura-k.com/>

奈良県庁奈良の木ブランド課 <http://www.pref.nara.jp/27678.htm>

林業白書 <http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/>

農林水産省 <http://www.maff.go.jp/>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限りです。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。